

金融市場NOW

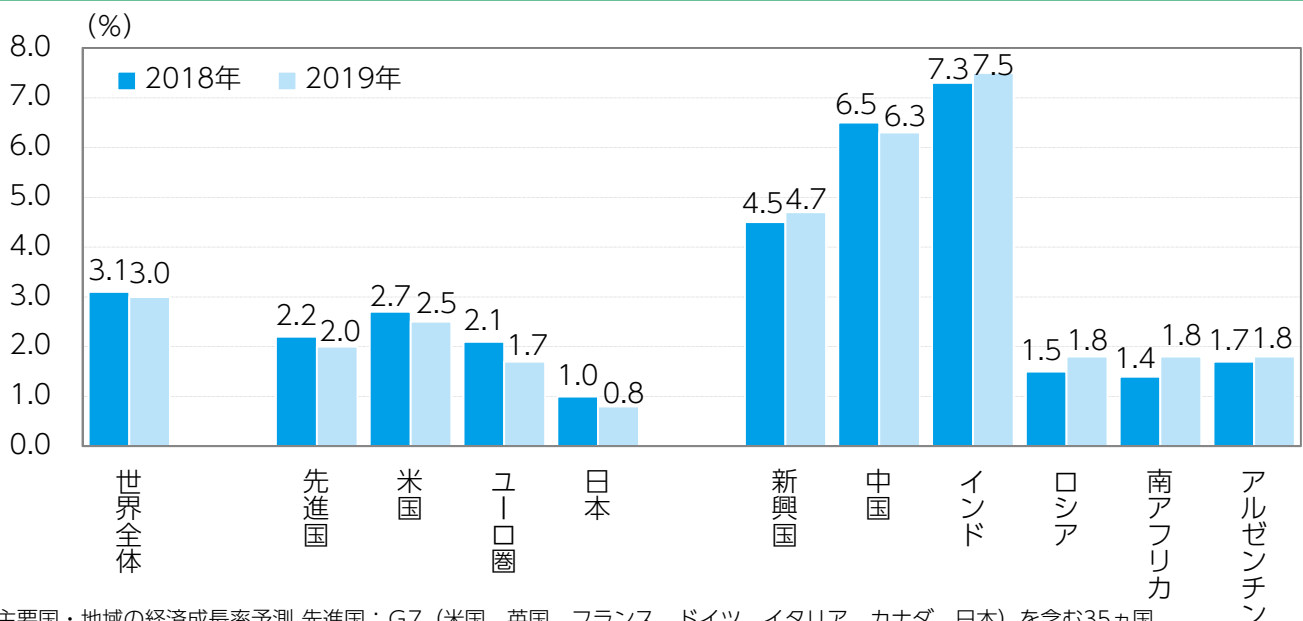
世界経済 ゆるやかに減速へ

米保護主義政策は引き続き懸念材料

世界銀行は6月5日に改定した世界経済見通し（G E P）において、2018年の世界全体の成長率を前回1月時点の予測から据え置き3.1%とし、引き続き堅調に推移するとの見通しを発表しました。その後は、各国・地域の中央銀行の利上げや米国の財政刺激が弱まり始めることなどから、2019年は3.0%、2020年は2.9%と先行きは緩やかに減速すると見込んでいます。なお、14日に国際通貨基金（IMF）が公表した米国の中期経済見通しにおいても、大型減税と歳出拡大効果の剥落により、2020年以降、米国の成長率は低下をたどると分析しています。トランプ米政権による保護主義的政策がより鮮明となる中、政治の不確実性と地政学的リスクは依然として大きいものとみられます。以下、ポイントです。

- ✓ 日本の2018年の成長率予想は1.0%とし、1月時点の予測から0.3ポイント引き下げた。原油価格の上昇が個人消費を下押しすると指摘。消費増税等の影響から2019年は0.8%、2020年も0.5%と減速が続く見込み。
- ✓ 米国の2018年の成長率予想は2.7%、2019年は2.5%と、見通しを1月時点の予想から2018年を0.2ポイント、2019年を0.3ポイントそれぞれ引き上げた。年明けに米議会を通過し、成立した支出拡大の予算合意が考慮に入れられた。大型減税と歳出拡大効果の剥落により2020年以降は下落をたどる見込み。
- ✓ ユーロ圏は2018年が2.1%、2019年が1.7%となり、緩やかに景気が減速するとの予想が据え置かれた。
- ✓ 新興国を代表する中国やインドは従来の見通しをおおむね維持された。中国は2018年が6.5%と前回予想から0.1ポイント引き上げられ、2019年は6.3%とやや鈍化すると見込まれている。
- ✓ 通貨急落に見舞われたアルゼンチンは成長率が大幅に下方修正された。米国の利上げにより、米ドル建て債務の返済負担が増す可能性が懸念されている。

図表：世界経済は徐々に減速すると見込まれている



※主要国・地域の経済成長率予測 先進国：G7（米国、英国、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、日本）を含む35カ国
新興国：BRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国）を含む146カ国

出所）図表は世界銀行のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>